

## 第3学年 国語科学習指導案（略案）

令和3年2月25日（木）第5校時

### 1 単元名・教材名

人物紹介カードを作って友達に紹介しよう・「モチモチの木」

### 2 児童の実態と本単元の意図（省略）

### 3 単元の目標

(1) 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。 〈思考力・判断力・表現力等〉C(1)エ

(2) 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。

〈思考力、判断力、表現力等〉C(1)オ

(3) 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることを気付くことができる。 〈思考力、判断力、表現力等〉C(1)カ

(4) 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。

〈知識・技能〉(1)オ

(5) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとしている。 〈学びに向かう力、人間性等〉

### 4 単元で取り上げる言語活動

人物紹介カードを作って友達に紹介しよう。（関連：言語活動例イ）

平行読書で斎藤隆介の作品を展示し、全員が第3次までに全ての本を1回は読むように指示する。本単元で場面ごとに更新していく豆太の人物紹介カードを作る。その人物紹介カードの作り方を参考に、斎藤隆介の作品から自分で1冊を選択し、その本の登場人物について叙述に即して読み取る。そして、読み取ったことを「人物紹介カード」にまとめ、友達と紹介し合う活動を行う。

### 5 単元の評価規準

	知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	①様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。((1)オ)	①「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ) ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ) ③「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることを気付いている。(C(1)カ)	①登場人物の性格について場面の移り変わりと結び付けて粘り強く想像し、学習の見通しをもって、感じたことや考えたことを友達と伝え合おうとしている。

### 6 指導と評価の計画（全12時間扱い）【本時6／12】

次	時	主な学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価
第一次	1	○単元扉を読み、物語の内容を予想する。 ○「モチモチの木」の範読を聞き、初発の感想を書く。 ○国語辞典を使い、分からない語句の意味調べを行う。	・要旨の把握 ・初発の感想 ・意味調べ	○分からないことや知りたいことを感想に書かせ、次時からの学習課題を立てる際に役立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">【思考・判断・表現②】</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">【知識・理解①】</div>

	2	<p>○初発の感想を友達と交流し、学習計画を立てる。</p> <p>○単元で取り上げる言語活動を理解し、豆太の人物紹介カードを作り、単元のゴールを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見交換</li> <li>・話し合いの仕方</li> <li>・学習計画の立案</li> <li>・豆太の人物紹介カード</li> </ul>	<p>○第3次で行う活動を説明することで見通しをもって学習に取り組めるようにする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度①】</p> <p>【思考・判断・表現③】</p>
第二次	3	<p>○「おくびょう豆太」の場面を読み、豆太とじさまの性格や気持ち、関係性を捉える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の行動や気持ちの変化を捉える音読</li> <li>・語り手の存在</li> <li>・豆太とじさまの性格や気持ち、関係性</li> </ul>	<p>○「語り手」という学習用語を押しさえ、豆太への見方やじさまについて語っているところを捉えさせる。</p> <p>【思考・判断・表現①】</p>
	4	<p>○「やい、木い」の場面を読み、豆太の性格や気持ちを捉える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の行動や気持ちの変化を捉える音読</li> <li>・昼間と夜で豆太のモチモチの木に対する気持ちの変化の読み取り</li> <li>・じさまの豆太への気持ち</li> </ul>	<p>○モチモチの木に対する豆太の様子を、昼間と夜で対比して考えさせることで、豆太の性格や気持ちを捉えさせる。</p> <p>【思考・判断・表現①】</p>
	5	<p>○「霜月二十日のばん」の場面を読み、豆太とじさまの性格や気持ちを捉える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の行動や気持ちの変化を捉える音読</li> <li>・モチモチの木に灯がともる条件</li> <li>・豆太とじさまの性格や気持ち</li> </ul>	<p>○豆太の怯える様子を捉えるとともに、山の神様のお祭りについて話したじさまの思いを考えさせる。</p> <p>【思考・判断・表現①】</p>
	6 (本時)	<p>○「豆太は見た」(P. 127～P. 129)の場面を読み、豆太のじさまへの気持ちを捉える。</p> <p>○前時の「霜月二十日のばん」までの豆太と比較し、より深い読み取りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の行動や気持ちの変化を捉える音読</li> <li>・豆太の気持ちの変化</li> </ul>	<p>○前時の豆太と比較し、じさまへの思いを考えさせることで、豆太の臆病な面と勇気のある面を捉えさせる。</p> <p>【思考・判断・表現①】</p>
	7	<p>○「豆太は見た」(P. 130～P. 132)の場面を読み、豆太の気持ちを捉える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の行動や気持ちの変化を捉える音読</li> <li>・豆太がモチモチの木の灯を見ることができた理由</li> </ul>	<p>○なぜ豆太がモチモチの木に灯がともった姿を見ることができたかを考えさせ、豆太の様子の変化を捉えさせる。</p> <p>【思考・判断・表現③】</p>
	8	<p>○「弱虫でも、やさしけりゃ」の場面を読み、豆太とじさまの性格や気持ちを捉える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の行動や気持ちの変化を捉える音読</li> <li>・じさまの豆太への気持ち</li> <li>・「おくびょう豆太」の場面との比較</li> </ul>	<p>○豆太とじさまの行動から、じさまの豆太に対する愛情の深さを読み取らせる。</p> <p>【思考・判断・表現②】</p>

第三次	9 ・ 10	○自分で選んだ斎藤隆介の作品の登場人物を紹介する「人物紹介カード」を作る。	・叙述に即した登場人物の読み取り ・文章作り ・推敲	○第2次での読み取り方を基に、登場人物の性格や気持ちを捉えさせる。  【思考・判断・表現②】  【知識・理解①】
	11 ・ 12	○「人物紹介カード」をもとに発表する。 ○お互いの作品について話し合う。	・同じ作品を選んだ児童のグループで発表 ・違う作品を選んだ児童のグループで発表 ・話し合い	○友達との交流を通して、自分の考えがどのように深まったのかを考えさせ、全体で共有する。  【主体的に学習に取り組む態度①】  【思考・判断・表現③】

## 7 本時の学習指導【本時6／12】




### (1) 目標

○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。  
〈思考力、判断力、表現力等〉C(1)

### (2) 評価規準

○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。  
【思考・判断・表現】

### (3) 本時の具体的な手立て

	△ (国語ステップ1)	○ (国語ステップ2)	◎ (国語ステップ3)
判断状況	豆太の気持ちを読み取ることができない。 	豆太の気持ちを1つ読み取ることができる。 	豆太の気持ちを複数読み取り、叙述を基に説明できる。 
指導支援	豆太の気持ちを読み取りやすいよう、叙述にサイドラインを引いたプリントを渡す。	豆太の気持ちが分かる叙述が他にもないか考えるよう助言する。	

### (4) 展開

過程	学習活動	学習内容	指導上の留意点(・) 評価(◎○) 手だて→	時間
つかむ	1 すらすら音読を行う。	○素読		1
	2 既習内容を振り返る。	○前時までの学習内容の想起	・豆太が臆病であること、じさまの豆太への思いを中心に振り返る。	2
	3 学習課題をつくる。  医者様をよびに行くまでの豆太の気持ちを読み取ろう。	○課題づくり	・学習計画に基づいて課題を設定し、児童の興味関心を高める。	3

考える	4 音読をする。(銘々で)	○登場人物の行動や気持ちの変化を捉える音読	・課題を意識させ、豆太の行動や気持ちを捉えながら各々が音読するように声を掛ける。	5
	5 個の読みを行う。 ※「国語ステップ」の記入 ※本文のプリントに記入	○豆太の行動や気持ちの変化	・「国語ステップ1・2・3」を活用し、児童の実態を把握し、適切な声掛けを行う。 ・本文のプリントに豆太の気持ちの分かる叙述にサイドラインを引き、気持ちを考えさせる。	10
	<b>【押さえない表現】</b> ・大すきなじさまの死にまうほうが、もっとこわかったから、 →豆太は、[こわい]という負の面、[じさまを助けたい]という正の面のどちらの気持ちが強いのかを考えさせ、豆太の気持ちを深く読み取らせる。		<b>【思考・判断・表現①】</b> <u>ワークシート、観察</u> ◎豆太の気持ちを複数読み取り、叙述を基に説明できる。 →豆太の気持ちが分かる叙述が他にもないか考えるよう助言する。 ○豆太の気持ちを1つ読み取ることができる。 →豆太の気持ちが読み取りやすいよう、叙述にサイドラインを引いたプリントを渡す。	
伝え合う	6 友達と交流し、思考を深める。 ①グループで交流 ②全体で深める ③ <b>【押さえない表現】</b> は正負どちらの面の気持ちが強いのか考える。	○分かりやすい説明の仕方 ○自分の考えと相手の考えの比較 ○豆太の気持ちの深い読み取り	・豆太の気持ちを叙述に即して発表し、グループで意見を出し合い、共有させる。 ・発表を聞く時は、自分の考えと比較しながら聞くようにさせる。 ・豆太の気持ちは1つではないことを知り、豆太の臆病な心と葛藤しながらも勇気を出してじさまを助けに行った豆太の勇敢さに気付かせる。	17
振り返る	8 学習のまとめをする。	○要点のまとめ方	・複数ある豆太の気持ちを確認し、児童の言葉でまとめられるようにする。	5
	寒くて、いたくて、こわかったが、大すきなじさまを助けようと走る、ゆう気のある豆太			
	9 本時の学習を振り返り、自分の考えをまとめる。	○自分の考えの形成	・本時の授業を通して、わかったこと、できたこと、できなかったことなどを記入するよう声掛けを行う。	2